

RS  
UNDERCOAT

F★★★★

ホルムアルデヒド放散等級

非トルエン・キシレン塗料

(一社)日本塗料工業会 室内環境対策の  
VOC自主表示 ガイドライン「非トルエン・  
キシレン塗料」に適合

これまでに培った技術力を結集した  
長期耐久性弾性下地調整材です。

RS

ファイラー

防水形合成樹脂エマルジョン複層仕上げ塗料

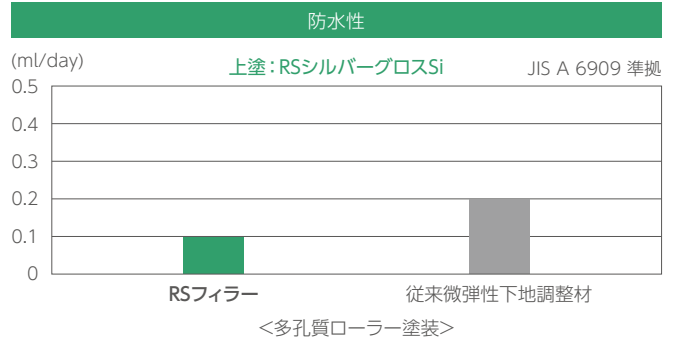
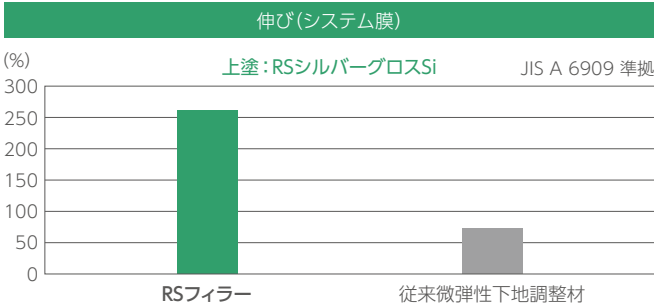
リフォーム  
サミット店

Supported by KANSAI PAINT



## 1 「弾性」下地調整材

緻密な塗膜を形成することにより防水性能が向上します。



## 2 防カビ・防藻性

バイオ技術を駆使した薬剤を配合しており、塗膜全体で優れた防カビ・防藻性を持続させます。

## 4 肌が緻密で高仕上り

微弾性ファイラーに比べ、隠ぺい性が良く上塗の吸い込みが少ないため、仕上りに優れています。

### ■ 塗装条件

塗装方法	多孔質ローラー
希釈率	1~4%
標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0.8~1.5
希釈剤	上水

\*標準所要量は、個々の条件によって異なります。 \*標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

### ■ 主な適用素材

コンクリート・モルタル

## 3 優れた付着性

付着性に優れていますので、微弾性ファイラー同様、旧塗膜へのシーラーレス塗装が可能です。

### ■ 塗装間隔

項目	温度		23℃
	標準塗装間隔	最短	8時間
最長		7日	
使用制限	—		

### ■ 荷姿

RSファイラー: 16kg

#### 施工上の注意事項

- ①素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2)、または5%以下(ケツ科学社製H1-500シリーズ:コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。
- ②塗替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー、ワイヤーブラシ等でぜい弱な塗膜を除去し高圧水洗を行ったのち、1日乾燥後塗装してください。
- ③気温5℃以下、湿度80%以上、また強風、降雨、降雪が予想される場合は塗装を中止してください。
- ④押出成型板、GRC板などは「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」をご使用ください。
- ⑤シーリング材の種類により割れ、汚れが発生することがあります。
- ⑥塗料は均一な状態になるよう十分攪拌してください。希釈率は、環境温度によって変化する場合があるので模様をよく確認して調整してください。規定以上の希釈は仕上り不良の原因となりますのでご注意ください。

- ⑦軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型業業サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」を塗装してください。
- ⑧ハケ塗りで補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上り肌の違いによる色相差が生じることがありますので、ご注意ください。
- ⑨汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ⑩旧塗膜がスタッコのような大柄模様の場合は各工程の塗料を十分に塗り込んでください。

#### ご使用上の注意事項

- 下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 取り扱い作業中・乾燥中とともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリッパ・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

- 吸入した場合: 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 保管: 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃棄: 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 施工上の安全: 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工員に対して安全表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。